

作成日 2008年6月20日

作成者 株式会社 三宅建築事務所

確認日

確認者

(1) 建物概要

建物名称	精華町立川西小学校	敷地面積	23,214 m ²
建物用途	学校	建築面積	2,627 m ²
建設地	京都府相楽郡	延床面積	6,020 m ²
気候区分	地域区分	階数	地上3F
地域・地区	市街化調整区域	構造	RC造
竣工年	2009年6月 予定	平均居住人員	400 人
		年間使用時間	2,340 時間/年



(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

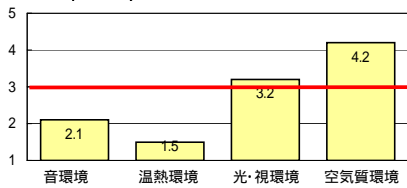
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 3.1

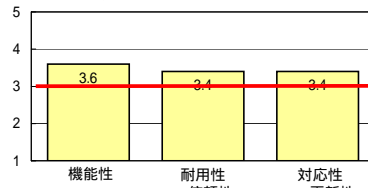
Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 2.7



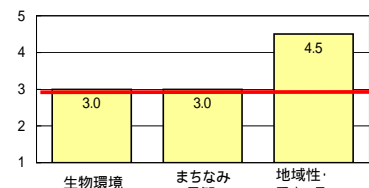
Q-2 サービス性能

SQ2 = 3.5



Q-3 室外環境 (敷地内)

SQ3 = 3.4

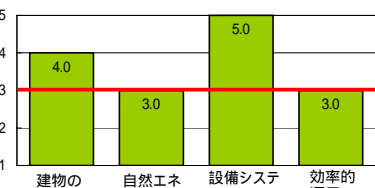


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 3.4

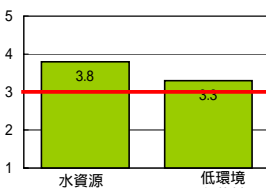
LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.9



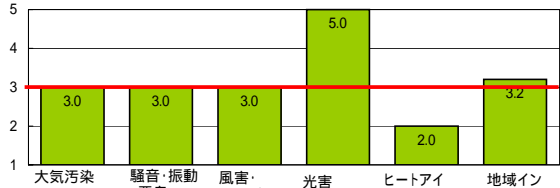
LR-2 資源・マテリアル

SLR2 = 3.4



LR-3 敷地外環境

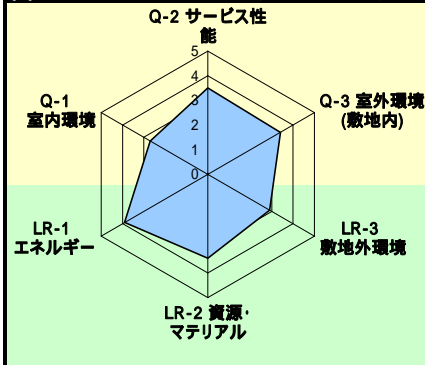
SLR3 = 2.9



(2)-2 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

(2)-3 環境性能効率 BEE

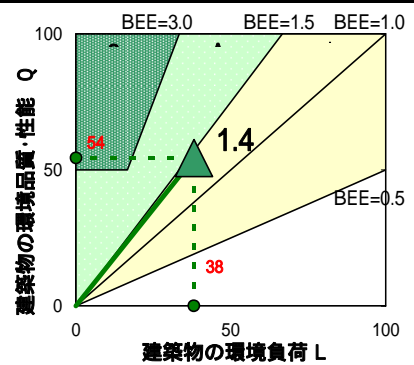
注2



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{54.3}{38.0} = 1.4$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

< 実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入 >

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²							
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²							
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例 備考 Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category BEE: Building Environmental Efficiency
 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
 注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
 Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
 注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。